

中城村 橋梁長寿命化修繕計画 (令和6年度改定)



中城村HPより
(あがりていだ橋)

令和7年3月



中城村 都市建設課

1. 中城村の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 長寿命化修繕計画の背景と目的	・ ・ ・ ・ ・	1
3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	・ ・ ・ ・ ・	1
4. 長寿命化修繕計画の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	2
5. 新技術等の活用方針	・ ・ ・ ・ ・	2
6. 集約化・撤去・機能縮小に関する方針	・ ・ ・ ・ ・	3
7. 健全性の診断	・ ・ ・ ・ ・	3
8. 管理橋梁の状態及び点検結果について	・ ・ ・ ・ ・	4
9. 修繕優先度の設定	・ ・ ・ ・ ・	5
10. 修繕優先度評価結果一覧	・ ・ ・ ・ ・	10
11. 事業計画一覧	・ ・ ・ ・ ・	12

1. 中城村の概要

(1) 気 候

中城村の気候は寒暖差が少なく、年平均気温は約23度と全国と比較して高い値となっている。春から夏に変わる時期に本土の「梅雨」にあたる「小満芒種（スーマンポー スー）」と呼ばれる沖縄独特の雨期（5月～6月）があり、梅雨明けと共に本格的な夏が訪れ台風期に入る。このことから、全国と比較しても降水量が多くなっている。

(2) 地理的特徴

中城村は、沖縄本島中部にあって、那覇市から北東へ16kmの北緯26度5分、東経127度48分に位置し、西は宜野湾市、南は西原町、北は北中城村と接している。東は中城湾に面し、村の中央を南北に小起伏の丘陵が走り、南に糸蒲山、中央に上武当岳、北に台城岳が位置している。南北に7.5km、東西に3.5kmの長方形をなし総面積15.53㎢である。

中城村の地形は大別して平坦部、斜面部、台地部の三つで形成され、地質は古い順から島尻層群、那覇石灰岩及び沖積層の三種類からなる。中城村の地形は、海側から国道329号までは比較的平坦であるが、国道329号から西側には、標高120m以上、比高100m以上の斜面が連続し、中城湾に面した東側斜面の大半が地すべり危険箇所とされている。

2. 長寿命化修繕計画の背景と目的

(1) 背 景

中城村が管理する橋梁は、令和7年現在で49橋（橋長2m以上）で、そのうち15m以上の橋梁は11橋、15m未満の橋梁は38橋となります。

道路は村民生活を支える非常に重要な社会基盤であり、ネットワークが維持されてこそ、機能が発揮されます。しかしながら、これらの橋梁の大半が老朽化していくなかで、従来の対策療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕等に要する維持管理コストが増大すつものと考えられます。

(2) 目 的

このような背景から、村民の安全で安心な生活を確保するため、従来の対症療法型の管理から、予防保全型の維持管理へと転換を図ることにより、橋梁の維持管理費の縮減を図るとともに、限られた予算の中で効率的かつ効果的に橋梁の維持管理を行い、健全な道路ネットワークを保全することを目的に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級	2級	その他	合計
橋長15m以上	4	3	4	11
橋梁15m未満	16	7	15	38
合 計	20	10	19	49

4. 長寿命化修繕計画の基本方針

(1) 健全度の把握の基本的方針

健全度の把握は、最新版の「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局）に基づく点検を定期的実施し、橋梁の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行っていきます。

また、点検にあたっては約18%の橋梁で新技術等の活用を検討し、費用の縮減や効率化に取り組むことを目標とします。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロール等を実施し、橋梁の安全性を確認していきます。

(3) 計画期間及び計画の見直し時期

当該橋梁長寿命化修繕計画の計画期間は令和5年度から令和14年度までの10年間とし、5年に1回の定期点検を踏まえて、適宜管理方針・評価の見直しを行います。

5. 新技術等の活用方針

(1) 点検支援技術の活用

- ◆定期点検の効率化、修繕等の省略化やコスト削減を図るためにも新技術の活用が重要。
- ◆点検支援技術性能カタログや新技術情報提供システム(NETIS)等を参考にする。

令和5年度から令和9年度の5年間に於いて、管理する橋梁の内8橋（健全度Ⅰ及びⅡ）で「橋梁点検ロボットカメラ」及び「ドローン」を活用し、交通規制や高所作業車、橋梁点検車での点検を減らすことで約1,840千円のコスト削減を目指します。

写真-1 【橋梁点検ロボットカメラ】



写真-2 【ドローン】



出典：国土交通省資料

(2) 補修新技術

令和5年度から令和9年度の5年間に於いて、管理する橋梁の内8橋で補修費用の縮減や耐用年数を伸ばすことが可能な新技術や材料の比較検討を設計段階より行い、約2,000千円のコスト削減を目指します。

6. 集約化・撤去・機能縮小に関する方針

(1) 橋梁の集約化・撤去

橋梁の老朽化に伴う維持管理費用の増加が懸念されるなかで、橋梁の延命化（ライフサイクルコストの低減）を図るだけでなく、利用状況を踏まえた橋梁の集約化・撤去・機能縮小の検討を行う必要があります。

集約化・撤去・機能縮小の検討対象とする構造物の条件は以下の通りとします。

- ①健全Ⅳと判定され、通行規制の対象となり補修費用が増大することが予測される構造物
- ②利用交通量が少なくかつ迂回路が存在する構造物

令和5年度から令和9年度の5年間において、管理する橋梁の内1橋の撤去を目指します。

また、撤去が実現した場合は1回の点検費用である約900千円のコスト削減を目指します。

7. 健全性の診断

道路橋定期点検要領では、今後管理者が執るべき対策を判断するための総合的な評価である「健全性の診断」を行うこととなっており、この診断は、各損傷に対して維持・補修等の計画を検討する上で必要な評価となります。

表－1 健全性の診断における判定区分

区分		状態
I	健全	・ 損傷が認められないか、損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性はなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで（＝5年程度以内）に構造物の安全性が著しく損なわれることはない判断できる状態。
II	予防保全段階	・ 損傷が進行しており、耐久性確保（予防保全）の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。
III	早期措置段階	・ 損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期（＝5年程度以内）に補修等される必要があると判断できる状態。
IV	緊急措置段階	・ 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、即時通行規制や応急措置など、緊急に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

8. 管理橋梁の状態及び点検結果について

令和7年3月現在

健全性		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ	Ⅳ		計
対策区分		A	B	C1	M	C2	E1	E2	
種別	1級	1	11	7	0	0	0	0	19
	2級	2	6	1	0	1	0	0	10
	その他	2	11	5	0	2	0	0	20
区分計		5	28	13	0	3	0	0	49
計		33		13		3	0		49
割合		67.3%		26.5%		6.1%	0%		100%

※前回の点検で健全性Ⅲと判定された橋梁のうち、1橋は橋梁の架替を実施し、健全性はⅠとなっています。

(1) 修繕措置の着手状況

完了予定7橋（令和7年度）

着手予定3橋（令和7年度3橋、令和8年度0橋、令和9年度0橋）

9. 修繕優先度の設定

橋梁を効率的に維持管理していくため、対策を行う優先順位をルール化しました。優先順位は、各橋梁の「健全性」と「重要性」から判断します。

(1) 橋梁の健全性

健全度の評価は点検結果をもとに、橋梁に求められる「耐荷性」「災害抵抗性」「走行安全性」で評価をします。

評価が同等な場合は、重要度の高いものを優先します。

(2) 橋梁の重要性

重要性は、橋梁の諸元や架設環境、交差条件、路線の利用状況などから橋梁毎に評価をします。

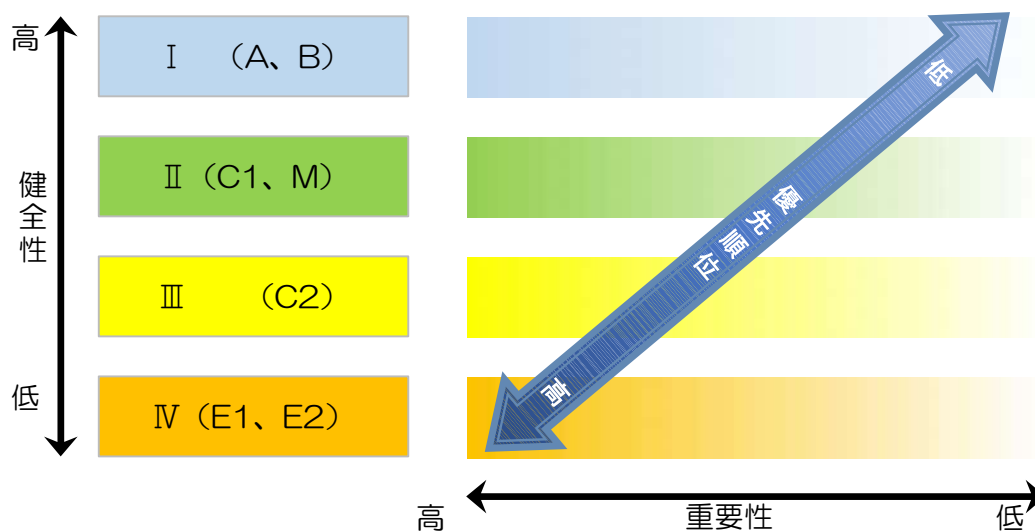
(3) 修繕優先度の設定

修繕優先度は橋梁の損傷度評価点（損傷度＝100－健全度）と重要度評価点の合計で評価します。

なお、合計する場合は係数を設定しており損傷度に重みを置いて評価します。

（損傷度：重要度＝6（ α ）：4（ β ））

$$\text{修繕優先度} = \alpha \times (100 - \text{健全度}) + \beta \times \text{重要度}$$



健全性と重要性を考慮した優先順位

(4) 目標

橋梁のメンテナンスを定期的に行うことで健全な状態を保つことを目標とします。

No.	橋梁名・函渠名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間数	道路等級
1	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.20	6.50	1	1級
2	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.10	8.50	1	1級
3	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.10	5.40	1	1級
4	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.30	10.30	1	1級
5	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	PCボックスカルバート	1980年	41年	2.30	6.40	1	1級
6	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.10	11.30	1	1級
7	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.00	7.30	1	1級
8	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.60	7.95	1	1級
9	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.55	1	1級
10	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.40	1	1級
11	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	12.25	1	1級
12	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.40	1	1級
13	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.90	7.40	1	1級
14	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊舎堂	PCボックスカルバート	1993年	28年	2.30	8.38	1	1級
15	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.30	19.50	1	1級
16	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.60	5.80	1	2級
17	伊集和宇慶 旧景道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧景道線	字和宇慶	RC床版橋＋ RCボックスカルバート	2021年	0年	5.00	10.20	1	2級
18	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.00	13.20	1	その他
19	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.10	8.30	1	その他
20	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	3.60	5.03	1	その他
21	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	2.60	7.64	1	2級
22	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	RC床版橋	1993年	28年	2.80	4.40	1	その他
23	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	RCボックスカルバート	1991年	30年	2.10	4.00	1	その他
24	あがりていだ橋	歴史の道線	字南上原	ポステン中空床版橋	2007年	14年	31.80	4.05	1	その他
25	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	プレテン中空床版橋	2011年	10年	5.00	6.20	1	その他
26	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	RC門型ラーメン橋	1985年	36年	5.20	5.00	1	その他
27	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	RC床版橋	1985年	36年	8.30	3.00	1	その他
28	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	RC床版橋	1991年	30年	10.50	1.90	1	その他
29	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	門型カルバート	2021年	0年	6.00	4.00	1	2級
30	田又橋	赤道線	字南上原	RC単純T桁橋	1989年	32年	11.35	12.90	1	1級
31	石嶺橋	榕原線	字南上原	RC単純T桁橋	1987年	34年	11.80	6.70	1	2級
32	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	アーチ橋	1998年	33年	3.00	2.50	1	その他
33	新垣橋	新垣中央線	字新垣	プレテンPC単純T桁橋	1986年	35年	18.40	5.20	1	2級
34	大峰橋	サンヒルズ1号線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	1990年	29年	23.90	10.80	1	その他
35	登橋	大瀬線	字登又	プレテン単純中空床版橋	1984年	37年	13.25	6.20	1	2級
36	第1登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.44	7.56	1	2級
37	第2登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.82	7.47	1	2級
38	我謝橋	ウフクビリ線	字登又	プレテンPC単純T桁橋	1983年	35年	17.20	9.75	1	1級
39	フクビリ橋	ウフクビリ線	字登又	H形綱橋	2006年	15年	24.60	2.73	1	1級
40	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2016年	5年	3.10	42.00	1	その他
41	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2017年	4年	2.10	11.10	1	その他
42	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	字久場	RCボックスカルバート	2018年	3年	2.10	12.40	1	その他
43	石畳橋	南伸6号線	字北上原	PCホストン 単純中空床版橋	1988年	33年	38.10	3.30	1	その他
44	がじゅまる橋	赤道線	字北上原	PCホストン 単純中空床版橋	1989年	32年	30.10	10.00	1	1級
45	山川橋	南伸7号線	字北上原	PCホストン 単純中空床版橋	1987年	34年	36.40	3.00	1	その他
46	西坂田橋	愛知線	字北上原	PCホストン 単純中空床版橋	1987年	34年	30.10	10.00	1	1級
47	新川線1号橋	新川線	字南上原	RC単純T桁橋	1980年	41年	5.60	3.90	1	2級
48	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	角形鋼管床板橋	2022年	2年	13.30	5.80	1	その他
49	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	RC溝橋(BOXカルバート)	1994年	28年	2.30	22.70	1	その他

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度
										主桁	横桁	床版	下部構 造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
										頂版	側壁	底版								
1	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.2	6.50	1	I (B)	I (A)	I (B)	—	—	II (M)	その他(舗装)	路面の凹凸	I	B	R4
2	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.1	8.50	1	II (C1)	I (B)	I (A)	—	—	I (B)	頂版	ひびわれ	II	C1	R4
3	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.1	5.40	1	I (B)	I (B)	I (A)	—	—	I (B)	頂版・側壁	ひびわれ	I	B	R4
4	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.3	10.30	1	II (C1)	II (C1)	I (A)	—	—	II (M)	頂版・側壁	ひびわれ・うき・ 剥離・鉄筋露出	II	C1	R4
5	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	PCボックスカルバート	1980年	41年	2.3	6.40	1	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (B)	I (B)	頂版	施工不良	I	B	R4
6	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.1	11.30	1	II (C1)	I (A)	I (A)	—	I (B)	I (B)	頂版	剥離・うき	II	C1	R4
7	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.0	7.30	1	I (A)	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (B)	側壁	施工不良	I	B	R4
8	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.6	7.95	1	I (B)	I (A)	II (C1)	I (A)	—	I (B)	底版	土砂蓄積	I	B	R4
9	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.55	1	I (A)	II (C1)	I (B)	I (A)	—	I (B)	側壁	変形・欠損・ その他施工不良	I	B	R4
10	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.40	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (B)	頂版・側壁	施工不良	I	B	R4
11	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	12.25	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (A)	頂版	変形・欠損	I	B	R4
12	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.40	1	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	—	I (B)	その他(舗装)	舗装の凹凸	I	A	R4
13	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.9	7.40	1	II (C1)	II (C1)	I (A)	I (A)	—	I (B)	頂版・側壁	ひびわれ・うき	II	C1	R4
14	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊舎堂	PCボックスカルバート	1993年	28年	2.3	8.38	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	I (B)	頂版・側壁	ひびわれ	I	B	R4
15	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.3	19.50	1	II (C1)	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (B)	頂版	ひびわれ・うき	II	C1	R4
16	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.6	5.80	1	I (A)	I (A)	I (B)	I (A)	—	I (B)	底版	土砂堆積	I	B	R4
17	伊集和宇慶 旧県道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧県道線	字和宇慶	RC床版橋＋ RCボックスカルバート	2021年	0年	5.0	10.20	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	I (B)	頂版・側壁	漏水・遊離石灰	I	B	R4
18	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.0	13.20	1	II (C1)	—	—	I (B)	—	I (B)	主桁	剥離・鉄筋露出	II	C1	R4
19	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.1	8.30	1	III (C2)	—	—	II (C1)	—	II (C1)	主桁・下部工・ その他(舗装)	うき・ひびわれ・ 剥離・鉄筋露出	III	C2	R4
20	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	3.6	5.03	1	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	II (C1)	I (B)	継手(連結部)	漏水・遊離石灰	I	B	R4

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度
										主桁	横桁	床版	下部構 造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
										頂版	側壁	底版								
21	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	2.6	7.64	1	I (A)	I (B)	I (A)	I (A)	—	I (B)	側壁	ひびわれ	I	B	R4
22	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	RC床版橋	1993年	28年	2.8	4.40	1	II (C1)	—	—	I (B)	I (A)	I (B)	主桁	うき・剥離・ 鉄筋露出	II	C1	R4
23	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	RCボックスカルバート	1991年	30年	2.1	4.00	1	I (A)	I (A)	I (A)	—	—	I (B)	その他(防護柵)	腐食・劣化	I	A	R4
24	あがりていだ橋	歴史の道線	字南上原	ポステン中空床版橋	2007年	14年	31.8	4.05	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (B)	I (A)	I (B)	主桁・下部工(胸部)	ひびわれ、 剥離・鉄筋露出	I	B	R4
25	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	プレテン中空床版橋	2011年	10年	5.0	6.20	1	I (A)	I (A)	—	I (B)	I (A)	I (B)	下部工	漏水	I	A	R4
26	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	RC門型ラーメン橋	1985年	36年	5.2	5.00	1	I (B)	—	—	I (B)	—	I (A)	主桁	変形・欠損	I	B	R4
27	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	RC床版橋	1985年	36年	8.3	3.00	1	I (A)	—	—	I (A)	—	II (C1)	その他(舗装)	路面の凹凸	I	B	R4
28	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	RC床版橋	1991年	30年	10.5	1.90	1	I (B)	—	—	I (A)	—	II (M)	その他(舗装)	土砂堆積	I	B	R4
29	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	門型カルバート	2021年	0年	6.0	4.00	1	I (A)	—	I (A)	I (B)	—	I (A)	下部工	豆板	I	A	R4
30	田又橋	赤道線	字南上原	RC単純T桁橋	1989年	32年	11.4	12.90	1	I (B)	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	II (M)	主桁・横桁・床版	ひびわれ	I	B	R4
31	石嶺橋	榕原線	字南上原	RC単純T桁橋	1987年	34年	11.8	6.70	1	I (B)	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	II (M)	主桁・横桁・床版	ひびわれ	I	B	R4
32	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	アーチ橋	1998年	33年	3.0	2.50	1	I (B)	—	—	—	—	I (B)	主桁	ひびわれ	I	B	R4
33	新垣橋	新垣中央線	字新垣	プレテンPC単純T桁橋	1986年	35年	18.4	5.20	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (B)	I (A)	II (M)	その他 (舗装・防護柵)	路面の凹凸・ボルトのゆるみ・脱落	I	B	R4
34	大峰橋	サンヒルズ1号線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	1990年	29年	23.9	10.80	1	I (B)	I (A)	I (B)	I (B)	I (A)	II (C1)	主桁・床版	ひびわれ、漏水	I	B	R4
35	登橋	大瀬線	字登又	プレテン単純中空床版橋	1984年	37年	13.3	6.20	1	II (C1)	I (A)	I (B)	I (B)	I (A)	I (B)	主桁	ひびわれ	II	C1	R4
36	第1登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.4	7.56	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	I (B)	主桁	変形・欠損	I	B	R4
37	第2登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.8	7.47	1	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	I (B)	その他(地覆)	ひびわれ、欠損	I	A	R4
38	我謝橋	ウフクビリ線	字登又	プレテンPC単純T桁橋	1983年	35年	17.2	9.75	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (B)	I (B)	II (C1)	その他(防護柵)	変形・欠損、破断	I	B	R4
39	フクビリ橋	ウフクビリ線	字登又	H形綱橋	2006年	15年	24.6	2.73	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	II (M)	主桁	防食機能の劣化	I	B	R4
40	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2016年	5年	3.1	42.00	1	II (C1)	I (B)	I (B)	—	I (B)	I (B)	頂版	ひびわれ	II	C1	R4

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度
										主桁	横桁	床版	下部構 造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
										頂版	側壁	底版	翼壁	継手						
41	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2017年	4年	2.1	11.10	1	I (A)	I (B)	I (A)	—	I (A)	I (A)	側壁	漏水	I	B	R4
42	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	字久場	RCボックスカルバート	2018年	3年	2.1	12.40	1	I (A)	I (B)	I (B)	—	—	I (B)	底版	土砂堆積	I	B	R4
43	石畳橋	南伸6号線	字北上原	PCポストテンション 単純中空床版橋	1988年	33年	38.1	3.30	1	II (C1)	—	II (C1)	I (B)	I (A)	II (M)	主桁	その他(植生)	II	C1	R3
44	がじゅまる橋	赤道線	字北上原	PCポストテンション 単純中空床版橋	1989年	32年	30.1	10.00	1	II (C1)	—	II (C1)	II (C1)	I (A)	II (M)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
45	山川橋	南伸7号線	字北上原	PCポストテンション 単純中空床版橋	1987年	34年	36.4	3.00	1	II (C1)	—	—	I (B)	I (A)	II (C1)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
46	西坂田橋	愛知線	字北上原	PCポストテンション 単純中空床版橋	1987年	34年	30.1	10.00	1	II (C1)	—	II (C1)	II (M)	I (A)	II (C1)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
47	新川線1号橋	新川線	字南上原	RC単純T桁橋	1980年	41年	5.6	3.90	1	III (C2)	—	—	II (C1)	—	II (C1)	主桁	剥離・鉄筋露出	III	C2	R3
48	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	角形鋼管床板橋	2022年	2年	13.3	5.80	1	I (B)	—	—	I (B)	—	I (B)	主桁	腐食	I	B	R6
49	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	RC溝橋(BOXカルバート)	1994年	28年	2.3	22.70	1	III (C2)	III (C2)	I (B)	I (B)	II (C1)	III (C2)	頂版	剥離・鉄筋露出 鉄筋破断	III	C2	R4

判定区分: I (健全)

- ・損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性がなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで(＝5年程度以内)に構造物の安全性が著しく損なわれることはないと判断できる状態。

判定区分: II (予防保全段階)

- ・損傷が進行しており、耐久性確保(予防保全)の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。

判定区分: III (早期措置段階)

- ・損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期に補修等される必要があると判断できる状態。

判定区分: IV (緊急措置段階)

- ・即時の通行規制や応急措置など、即時に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

表-1 橋梁定期点検要領 における対策区分の判定区分

区分		判定の内容
健全性	対策区分	
I	A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
	B	状況に応じて補修を行う必要がある。
II	C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	M	維持工事で対応する必要がある。
III	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
IV	E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
	E2	その他、緊急対応の必要がある。
	S1	詳細調査の必要がある。
	S2	追跡調査の必要がある。

修繕優先度評価結果一覧

修繕優先度評価点＝(100－健全度評価点)×0.6＋重要度評価点×0.4

修繕優先順位	橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長（m）	健全性の診断 橋梁毎の断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点							重要度評価点	重要度順位	各評価指標の評価点			健全度評価点	健全度順位	修繕評価優先度
										緊急輸送道路 （重要施設 アクセス路）	バス路線	迂回路の有無	塩害地域	竣工年時	橋長	立地条件			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性			
1	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	1994年	27年	1	2.30	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	12.0	5.0	0.0	0.0	17.0	36	42.00	44.00	54.00	45.20	1	39.68
2	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	1985年	36年	1	2.10	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	48.00	64.00	66.00	58.00	2	29.60
3	がじゅまる橋	赤道線	字北上原	1989年	32年	1	2.30	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.0	23	59.00	69.00	51.00	61.40	4	28.76
4	新川線1号橋	新川線	字南上原	1980年	41年	1	5.60	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	51.00	64.00	67.00	59.40	3	28.36
5	西坂田橋	愛知線	字北上原	1987年	34年	1	30.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	9.0	35	58.00	78.00	46.00	63.60	5	25.44
6	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	1993年	28年	1	2.90	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	74.00	72.00	86.00	75.60	8	22.64
7	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	1980年	41年	1	2.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	5.0	6.0	5.0	0.0	0.0	25.0	1	76.00	82.00	80.70	79.34	13	22.40
8	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	1980年	41年	1	4.30	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	76.00	82.00	72.70	77.74	10	21.36
9	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	4.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	74.00	82.00	86.00	79.60	14	20.24
10	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	1993年	28年	1	2.30	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	77.00	82.00	87.00	81.00	15	19.40
11	山川橋	南伸7号線	字北上原	1987年	34年	1	36.40	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	8.0	36	74.00	82.00	56.00	73.60	6	19.04
12	我謝橋	ウフクビリ線	字登又	1983年	35年	1	17.20	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	19.0	17	83.50	87.90	67.90	82.14	19	18.32
13	石畳橋	南伸6号線	字北上原	1988年	33年	1	38.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	79.00	84.00	57.00	76.60	9	18.04
14	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	1985年	36年	1	2.00	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	74.00	82.00	80.00	78.40	11	17.36
15	田又橋	赤道線	字南上原	1989年	32年	1	11.35	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.0	23	85.70	84.30	66.30	81.26	17	16.84
16	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	3.10	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	86.00	86.00	82.70	85.34	24	16.80
17	登橋	大瀬線	字登又	1984年	37年	1	13.25	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	76.20	84.90	72.60	78.96	12	16.62
18	新垣橋	新垣中央線	字新垣	1986年	35年	1	18.40	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	5.0	0.0	18.0	18	88.50	88.80	66.90	84.30	22	16.62
19	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊舎堂	1993年	28年	1	2.30	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	87.00	86.00	83.00	85.80	27	16.52
20	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	3.20	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.00	86.00	81.30	85.86	28	16.48
21	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	1993年	28年	1	2.80	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	40	72.00	72.00	85.30	74.66	7	16.40
22	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	1993年	28年	1	2.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.00	86.00	83.30	86.26	29	16.24
23	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	1993年	28年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.50	86.00	83.50	86.50	30	16.10
24	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	1993年	28年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	85.00	84.00	97.00	87.00	31	15.80
25	あがりていだ橋	歴史の道線	字南上原	2007年	14年	1	31.80	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	88.50	87.30	84.20	87.16	32	15.70

修繕優先度評価結果一覧

修繕優先度評価点＝(100－健全度評価点)×0.6＋重要度評価点×0.4

修繕優先順位	橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長（m）	健全性の診断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点							重要度評価点	重要度順位	各評価指標の評価点			健全度評価点	健全度順位	修繕評価優先度
										緊急輸送道路 （重要施設 アクセス路）	バス路線	迂回路の有無	塩害地域	竣工年時	橋長	立地条件			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性			
26	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	1998年	33年	1	3.00	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	17.0	19	84.00	86.00	88.00	85.60	26	15.44
27	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	1993年	28年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.50	86.00	89.50	87.70	34	15.38
28	石嶺橋	榕原線	字南上原	1987年	34年	1	11.80	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	84.70	86.30	65.00	81.40	18	15.16
29	大峰橋	サンヒルズ1号線	字登又	1990年	29年	1	23.90	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	84.30	89.40	66.40	82.76	21	14.74
30	フクビリ橋	ウフクビリ線	字登又	2006年	15年	1	24.60	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	17.0	19	87.00	88.70	92.30	88.74	36	13.56
31	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	1980年	41年	1	2.30	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	90.00	96.00	84.00	91.20	37	13.28
32	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	1980年	41年	1	2.00	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	96.00	90.00	84.70	91.34	38	13.20
33	伊集和宇慶 旧県道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧県道線	字和宇慶	2021年	0年	1	5.00	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	86.00	86.00	82.70	85.35	25	12.80
34	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	1985年	36年	1	5.20	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	8.0	36	84.00	86.00	82.00	84.40	23	12.56
35	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	1991年	30年	1	10.50	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	38	86.00	76.00	88.70	82.54	20	12.48
36	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	1994年	27年	1	3.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	87.00	86.00	91.00	87.40	33	11.96
37	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	字泊	2016年	5年	1	3.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	76.00	83.30	87.30	81.20	16	11.28
38	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	1980年	41年	1	3.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	16.0	21	98.00	90.00	85.30	92.26	41	11.04
39	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	1994年	27年	1	2.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	16.0	21	97.00	90.00	91.00	93.00	42	10.60
40	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	1993年	28年	1	2.10	I	A	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	100.00	100.00	92.00	98.40	47	8.96
41	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	2022年	2年	1	13.30	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	36	86.00	81.75	97.88	88.54	35	8.08
42	第1登栄橋	大瀬線	字登又	2009年	12年	1	15.44	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	5.0	0.0	13.0	25	90.00	99.80	99.90	95.90	46	7.66
43	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	2021年	0年	1	6.00	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	97.00	90.00	99.00	94.60	44	7.24
44	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	2011年	10年	1	5.00	I	A	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	40	97.00	90.00	85.00	91.80	39	6.12
45	第2登栄橋	大瀬線	字登又	2009年	12年	1	15.82	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	12.0	26	100.00	100.00	92.00	98.40	48	5.76
46	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	字久場	2018年	3年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	94.00	90.00	92.00	92.00	40	4.80
47	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	字泊	2017年	4年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	96.00	90.00	98.70	94.14	43	3.52
48	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	1991年	30年	1	2.10	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	38	100.00	100.00	94.00	98.80	49	2.72
49	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	1985年	36年	1	8.30	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42	100.00	100.00	78.00	95.60	45	2.64

事業計画一覧表

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m2)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)									備考	
											2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年		2032年
											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14
1	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	2.3	11.4	26.2	1994年	27年	R4	Ⅲ	早期措置段階		1,300	39,193		240					240	令和6年度 更新事業着手予定
												調査設計	施工:架替		定期点検					定期点検	
2	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	2.1	8.3	17.4	1985年	36年	R4	Ⅲ	早期措置段階		400	13,486		240					240	令和6年度 更新事業着手予定
												調査設計	施工:架替		定期点検					定期点検	
3	がじゅまる橋	赤道線	30.1	10.0	301.0	1989年	32年	R3	Ⅱ	予防保全段階	8,300			900					900		
											ひびわれ補修工			定期点検					定期点検		
4	新川線1号橋	新川線	5.6	3.9	21.8	1980年	41年	R3	Ⅲ	予防保全段階	31,735			360					360		令和5年度 更新事業完了
											施工:架替			定期点検					定期点検		
5	西坂田橋	愛知線	30.1	10.0	301.0	1987年	34年	R3	Ⅱ	予防保全段階	8,300			900					900		
											ひびわれ補修工			定期点検					定期点検		
6	潮垣線16号ボックス	潮垣線	2.9	7.4	21.5	1993年	28年	R4	Ⅱ	予防保全段階	100	1,020			210					210	
											調査設計	断面修復工			定期点検					定期点検	
7	潮垣線6号ボックス	潮垣線	2.1	11.3	23.7	1980年	41年	R4	Ⅱ	予防保全段階		140	1,400		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
												調査設計	断面修復工		定期点検					定期点検	
8	潮垣線4号ボックス	潮垣線	4.3	10.3	44.3	1980年	41年	R4	Ⅱ	予防保全段階		180	1,800		210					210	令和6年度 補修事業着手予定
												調査設計	断面修復工		定期点検					定期点検	
9	潮垣線2号ボックス	潮垣線	4.1	8.5	34.9	1980年	41年	R4	Ⅱ	予防保全段階		170	1,750		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
												調査設計	断面修復工		定期点検					定期点検	
10	潮垣線19号ボックス	潮垣線	2.3	19.5	44.9	1993年	28年	R4	Ⅱ	予防保全段階		110	1,160		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
												調査設計	断面修復工		定期点検					定期点検	
11	山川橋	南伸7号線	36.4	3.0	109.2	1987年	34年	R3	Ⅱ	予防保全段階	8,300			900					900		
											ひび割れ補修工			定期点検					定期点検		
12	我謝橋	ウフクビリ線	17.2	9.8	167.7	1983年	38年	R4	Ⅰ	措置不要					580					580	
															定期点検				定期点検		
13	石畳橋	南伸6号線	38.1	3.3	125.7	1988年	33年	R3	Ⅱ	予防保全段階	1,400			360					360		
											断面修復工			定期点検				定期点検			

事業計画一覧表

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m2)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)								備考		
											2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		R13	R14
14	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	2.0	13.2	26.4	1985年	36年	R4	Ⅱ	予防保全段階			320 調査設計	800 断面修復工	240 定期点検					240 定期点検	令和7年度 補修事業着手予定
15	田又橋	赤道線	11.4	12.9	146.4	1989年	32年	R4	Ⅰ	措置不要					520 定期点検					520 定期点検	
16	潮垣線3号ボックス	潮垣線	3.1	5.4	16.7	1980年	41年	R4	Ⅰ	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
17	登橋	大瀬線	13.3	6.2	82.2	1984年	37年	R4	Ⅱ	予防保全段階		230 調査設計	2,380 断面修復工		490 定期点検					490 定期点検	令和6年度 補修事業着手予定
18	新垣橋	新垣中央線	18.4	5.2	95.7	1986年	35年	R4	Ⅰ	措置不要					530 定期点検					530 定期点検	
19	潮垣線18号ボックス	潮垣線	2.3	8.4	19.3	1993年	28年	R4	Ⅰ	措置不要					230 定期点検					230 定期点検	
20	潮垣線1号ボックス	潮垣線	3.2	6.5	20.8	1980年	41年	R4	Ⅰ	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
21	海平線1号ボックス	海平線	2.8	4.4	12.3	1993年	28年	R4	Ⅱ	予防保全段階			70 調査設計	730 断面修復工	210 定期点検					210 定期点検	令和7年度 補修事業着手予定
22	潮垣線10号ボックス	潮垣線	2.6	8.0	20.7	1993年	28年	R4	Ⅰ	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
23	潮垣線11号ボックス	潮垣線	2.1	7.6	15.9	1993年	28年	R4	Ⅰ	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
24	潮垣線13号ボックス	潮垣線	2.1	12.3	25.7	1993年	28年	R4	Ⅰ	措置不要					240 定期点検					240 定期点検	
25	あがりていだ橋	歴史の道線	31.8	4.1	128.8	2007年	14年	R4	Ⅰ	措置不要					640 定期点検					640 定期点検	
26	若南原の石橋	歴史の道線	3.0	2.5	7.5	1998年	23年	R4	Ⅰ	措置不要					230 定期点検					230 定期点検	

事業計画一覧表

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m2)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)								備考		
											2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	2032年
											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		R13	R14
27	潮垣線12号ボックス	潮垣線	2.1	7.4	15.5	1993年	28年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
28	石嶺橋	榕原線	11.8	6.7	79.1	1987年	34年	R4	I	措置不要					490 定期点検					490 定期点検	
29	大峰橋	サンヒルズ1号線	23.9	10.8	258.1	1990年	31年	R4	I	措置不要					660 定期点検					660 定期点検	
30	フクビリ橋	歴史の道線	24.6	2.7	67.2	2006年	15年	R4	I	措置不要					560 定期点検					560 定期点検	
31	潮垣線5号ボックス	潮垣線	2.3	6.4	14.7	1980年	41年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
32	潮垣線8号ボックス	潮垣線	2.0	7.3	14.6	1980年	41年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
33	伊集和宇慶 旧県道線2号ホッス	伊集和宇慶 旧県道線	5.0	10.2	51.0	2021年	0年	R4	I	措置不要					240 定期点検					240 定期点検	
34	南伸9号線1号橋	南伸9号線	5.2	5.0	26.0	1985年	36年	R4	I	措置不要					250 定期点検					250 定期点検	
35	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	10.5	1.9	20.0	1991年	30年	R4	I	措置不要					230 定期点検					230 定期点検	
36	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	3.6	5.0	18.1	1994年	27年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
37	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	3.1	42.0	130.2	2016年	5年	R4	Ⅱ	予防保全段階			360 調査設計 (定期点検)	1,200 断面修復工	240 定期点検					240 定期点検	令和7年度 補修事業着手予定
38	検地線1号ボックス	検地線	3.6	5.8	20.9	1980年	41年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	
39	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	2.6	7.6	19.9	1994年	27年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	

事業計画一覧表

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m2)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)									備考		
											2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年		2032年	
											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14	
40	潮垣線14号ボックス	潮垣線	2.1	7.4	15.5	1993年	28年	R4	I	措置不要					210 定期点検					210 定期点検	令和4年度 更新事業完了	
41	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	13.3	5.8	77.1	2022年	2年 (2024年 現在)	R6	I	措置不要		520 定期点検				520 定期点検						
42	第1登米橋	大瀬線	15.4	7.6	116.7	2009年	12年	R4	I	措置不要					530 定期点検					530 定期点検		
43	愛知線1号橋	愛知線	6.0	4.0	24.0	2021年	0年	R4	I	措置不要					240 定期点検					240 定期点検		
44	奥間1号橋	奥間中央線	5.0	6.2	31.0	2011年	10年	R4	I	措置不要					230 定期点検					230 定期点検		
45	第2登米橋	大瀬線	15.8	7.5	118.2	2009年	12年	R4	I	措置不要					530 定期点検					530 定期点検		
46	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	2.1	12.4	26.0	2018年	3年	R4	I	措置不要					240 定期点検					240 定期点検		
47	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	2.1	11.1	23.3	2017年	4年	R4	I	措置不要					240 定期点検					240 定期点検		
48	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	2.1	4.0	8.4	1991年	30年	R4	I	措置不要					230 定期点検					230 定期点検		
49	南伸10号線1号橋	南伸10号線	8.3	3.0	24.9	1985年	36年	R4	I	措置不要					240 定期点検					240 定期点検		
												58,135	4,070	23,090	6,150	12,990	0	520	0	3,420	12,990	